

## 企画展 昭和 100 年 しながわめぐり

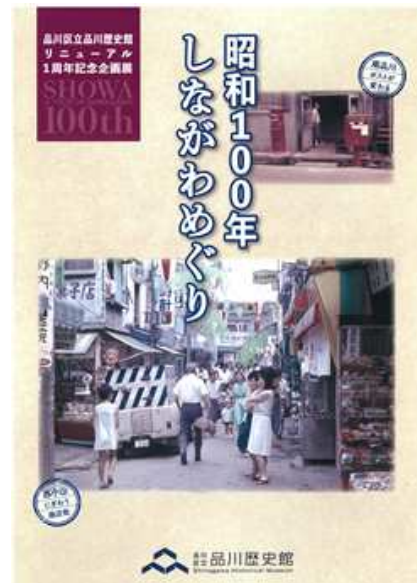
期間	令和 7 年 4 月 29 日（火・祝）～ 8 月 31 日（日）108 日間				
会場	特別展示室				
有料観覧者	一般 3,397	小中 226	一般団体 65	小中団体 0	有料計 3,688
無料観覧者	区関係 28	区内小中 790	招待 440	高齢者 1,517	無料計 2,775
					総計 6,463

### 〔開催趣旨〕

令和 7 年（2025）は、昭和元年から数えてちょうど 100 周年を迎える記念の年であった。

昭和時代は日本の歴史においても政治、経済、社会、生活、文化とともに大変革の時代であったと言える。震災復興の大正から昭和の移行期、戦時中の厳しい時代、戦後の改革と経済復興、そして高度経済成長期の世界的な飛躍、バブル経済など、さまざまな出来事がこの時代を彩り、品川もまたその大きな流れの中で成長を遂げた。

本展では、大正 12 年（1923）に発生した関東大震災後の復興の様子から、昭和 64 年（1989）の平成改元頃までの品川の歩みを、品川区と当館が所蔵する写真と地図を中心に紹介した。



### 〔展示概要〕

プロローグ 100 年前の風景

第 1 章 農地から市街地へ

第 2 章 産業と暮らし—昭和 20～30 年代—

第 3 章 産業と暮らし—昭和 40～60 年代—

第 4 章 海上利用による緑地回復

エピローグ 昭和時代が終わり、昭和 100 年を迎える